

(3) 産業振興による魅力ある都市づくり

大竹市工場設置等奨励事業

《担当：地域振興課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	244,505	0	0	0	244,505
18年度	22,131	0	0	0	22,131
19年度	304,994	0	0	0	304,994

企業活動の活性化を促し、雇用の促進および固定資産税の増収を図るため、新規に工場などを設置する企業者に奨励金を交付しました。
また、新規に県や市の造成地を取得した事業所に助成金を交付しました。

【制度の概要】

●工場等設置奨励金

新規に工場などを設置した者に対し、1億円を上限とし、3年度間における各年度の固定資産税額に相当する額を奨励金として交付します。

- 〔奨励対象〕・大企業：投下固定資産総額が5億円以上
・中小企業：投下固定資産総額が5千万円以上

- 〔交付率〕・1年目 固定資産税額の 100/100
・2年目 75/100
・3年目 50/100

●土地取得助成金

公的機関が造成した土地を新規に1ha以上取得した事業所に対し、売買代金の5%の範囲内で助成を行います。

【3年間の実績と推移】

(単位：円)

	企業・事業所名	17年度	18年度	19年度
工場等設置 助成金	(有) なか川	1,403,100		
	三菱レイヨン(株)	114,627,390	22,130,241	6,961,826
	(株)栗本五十市商店			1,250,000
	計	116,030,490	22,130,241	8,211,826
土地取得 助成金	(株)ダイセル化学工業	128,474,400		123,531,779
	三菱レイヨン(株)			130,939,872
	(株)インターフェース			26,798,416
	三島製紙(株)			15,511,656
	計	128,474,400	0	296,781,723
合 計		244,504,890	22,130,241	304,993,549

産業まちおこし事業

《担当：地域振興課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
18年度	450	0	0	0	450
19年度	308	0	0	0	308

「まちおこし」を目的として事業や交流イベントを企画・実施していくことで、市全体の産業振興に取り組みます。

【事業の実施状況】

●企業が元気になるセミナー

【内 容】

日本は諸外国と比べても100年以上存続している企業が多くある。そのように長く企業が存続できる企業戦略、技術論、社風などについて、市内企業を対象に「100企業だけど最先端しかも世界一」という題目で講演会を開催

【講 師】(株)産業タイムズ社 取締役編集局長 泉谷 渉

【開催日】平成20年2月13日（木）

【対 象】市内企業

【参加者】69名

市内企業紹介ウェブサイト事業

《担当：地域振興課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	210	0	0	0	210
18年度	200	0	0	0	200
19年度	99	0	0	0	99

市内事業所を紹介・PRするウェブサイト（ホームページ）を公開し、消費の促進・産業振興を図ります。

【事業の実施状況】

大竹市の産業情報を公開しています。企業名、業種、製品名から大竹市内の企業を検索することができます。

掲載企業数 : 139社

【大竹市産業情報サイト】 ⇒ <http://otake-keizai.jp>

集落営農担い手育成事業

NEW!

《担当：地域振興課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
19年度	559	350	0	0	209

生産性の高い農業の育成と活力ある農村づくりのために行ってきた農村総合整備事業が、18年度に完了したことに伴い、今後は整備した農地や農業用施設を有効活用し、産業として自立した農業の確立を目指す必要があることから、リーダーシップを発揮して地域農業の将来を支える人材の育成に取り組みました。

【事業の実施状況】

比較的法人化しやすく、リーダー的な集落になりうると考えられる、ほ場整備をした3地区を重点的に説明会等を実施しました。

- 地元説明会
谷和地区3回、広原地区4回、後原地区3回
- 視察研修
ファーム・うち、宇山東営農組合（どちらも東広島市）
- 情報紙等の発行による啓発活動

広島カキのイメージ回復事業・消費回復支援事業

NEW!

《担当：地域振興課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
19年度	50	0	0	0	50

平成18年度中にノロウィルスの発生の話題が報道関係機関に特に取り上げられたことに伴い、カキに対する風評被害により市内カキ養殖業者に対する多大な影響が問題となっていたことから、広島県漁連、広島県とともに、カキのイメージ回復・消費回復を図りました。

内容としては、生産者が一体となってPR活動に取り組むとともに、11月23日の「かきの日」にあわせて、地元広島と大阪においてイベントを開催し、消費者に広島カキのおいしさや品質の良さを実感してもらうことで、消費の回復を図りました。

【事業の実施状況】

全体事業内容

事業主体 広島県漁業協同組合連合会

総事業費 4,058,889円

内容 ○第3回かきの日イベント 2,300,000円

開催日 11月23日(金)

場 所 広島県立広島産業会館

集客数 約5,000人

○全国かきの日イベント 1,758,889円

開催日 11月23日(金)

場 所 梅田スカイビル(大阪市)

集客数 約3,500人

※カキ料理の提供、PRチラシ配布など

漁港施設の改修・改良事業

(県営事業負担金)

《担当：監理課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	54,100	0	52,200	100	1,800
18年度	34,733	0	32,400		2,333
19年度	42,563	0	38,300	0	4,263

県が管理する市内の漁港の改修・改良について、「広島県建設事業負担金条例」に基づき、県に対して負担金を支出しました。

【事業の実施状況】

(単位：千円)

漁港名称	事業内容	全体事業費	市負担率	市負担額
玖波漁港	地域水産物供給基盤整備 ○地域水産物供給基盤整備工事 ・工事延長 L=27.2m(敷砂投入 $\Sigma V=1,066\text{m}^3$, 締固砂杭工 N=143本) ・工事延長 L=30m(ケーソン製作 2函, 被覆ブロック製作 64個) ・工事延長 L=35.6m(基礎捨石工 $\Sigma V=654\text{m}^3$, ケーソン据付工 N=2函, 上部工 $\Sigma \text{coV}=234\text{m}^3$) ○底質調査, 漁港台帳管理システム作成, 疎測量(深浅・地形測量, 地質調査, ボーリング調査)	130,000	2/10	26,000
	地域水産物供給基盤整備(18年度繰越分) ○地域水産物供給基盤整備工事 ・工事延長 L=129.2m(捨石工 $\Sigma V=1,118\text{m}^3$, 本体ブロック据付 312個, 被覆ブロック据付 207個) ○地質調査, 測量・設計 ほか	18,000	2/10	3,600
	漁港改良 ○港湾維持修繕工事(盛土 $V=5,500\text{m}^3$, 表層整形 $A=30,830\text{m}^2$, 路盤工 $A=1,740\text{m}^2$, 表層舗装本体 $A=1,760\text{m}^2$) ○事業計画変更資料作成ほか	2,000	1/3	667
阿多田漁港	地域水産物供給基盤整備 ○測量(平板測量, 深浅測量), 浮体式物揚場基本設計・細部設計 ○浮函製作工事 ・PCハイブリッド浮函製作 2個 ほか ○漁港台帳管理システム作成	66,300	1/10	6,630
	地域水産物供給基盤整備(18年度繰越分) ○養殖岸壁工事 ・工事延長 L=49m(基礎捨石工 $V=1,823\text{m}^3$, L型ブロック製作・設置(8個), コンクリート舗装 $A=1,377\text{m}^2$) ほか	20,000	1/10	2,000
	漁港改良 ○護岸改良工事 ・工事延長 L=64.6m(基礎捨石 $V=121\text{m}^3$, 被覆石 $V=141\text{m}^3$, 基礎コンクリート $V=33\text{m}^3$) ほか	11,000	1/3	3,667
	計	247,300		42,563

大竹港東栄地区港湾整備事業 (県営事業負担金)

《担当：監理課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	702,083		326,200	368,384	7,499
18年度	52,167		50,600		1,567
19年度	16,680		15,900		780

市の産業基盤の中心部である臨海部の工業地帯の活力を増すため、県が実施している大竹港東栄地区の港湾施設の整備について進ちょくを図りました。

この事業は、既存産業を基盤として地域産業の活性化を図るとともに、港湾物流機能の強化を図ることを目的として、広島県が事業主体となって平成13年度から実施しており、市は、「広島県建設事業負担金条例に基づき、県に対して負担金を支出しています。

平成18年度において港部分が完成し、以後、港内道路整備や緑地整備などを行っています。

【実施状況（成果）及び制度の説明】

【事業の実施状況】		(単位：千円)			
港湾名称	地区名	事業内容	全体事業費	市負担率	市負担額
大竹港	東栄	港湾環境整備 ○港湾緑地実施設計 ○港湾環境整備工事 ・工事延長 L=198.4m 水叩工 A=581㎡ 側溝工 L=188m フラップゲート 5枚	13,385	1/4	3,346
	東栄	港湾改良 ○港湾緑地実施設計 ○ふ頭用地整備工事 ・油流出防止整備(オイルフェンス設置, 油流出防止材, 標識工) ほか	5,000	1/3	1,667
	東栄	港湾改良 ○ふ頭用地造成・港湾改良工事 アスファルト舗装工(表層工・基層工) ○港湾改良工事 水叩き工 L=167m	10,000	1/3	3,333
	東栄 (南港)	港湾改良 ○ふ頭用地造成・港湾改良工事 ・危険物施設用地(下層路盤 A=1,467㎡, フェンス工 L=345m, 擁壁工 V=62㎡, 水路工 L=77m) ほか	25,000	1/3	8,333
		計		53,385	

ひろしまの森づくり事業

NEW!

《担当：地域振興課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
19年度	5,150	5,118	0	0	32

県土の保全や水源かん養などの森林の有する公益的な機能を持続的に発揮させるため、平成19年4月から広島県が導入した「ひろしまの森づくり県民税」を財源として、県民共有の財産である森林を守り育てる事業を推進しました。また、事業を推進するにあたり「ひろしまの森づくり大竹市推進協議会」を設置し、事業内容の検討を行い実施しました。

【事業の実施状況】

- 環境貢献林整備事業【1,350,000円（所有者負担：32,500円）】
過去15年以上手入れがなされなかったスギ、ヒノキの人工林を整備
〔実施内容〕大竹市有林（栗谷町小栗林字倉掛）を整備（3.25ha）
- 里山林整備事業【2,625,000円】
手入れが不十分なマツや広葉樹などの里山林を整備
〔実施内容〕国道186号線沿い及び三倉岳遊歩道周辺の松枯れした枯損木を伐倒処理（10.5ha）
- 森林・林業体験活動支援事業【75,000円】
森林の機能や林業について学ぶ森林・林業体験活動への支援
〔実施内容〕主体：栗谷中学校、栗谷小学校、地元住民
内容：地域の森の手入れ、炭焼き体験、間伐材を利用したペレットストーブ体験
- 県産間伐材木製品普及促進事業【966,000円】
公共施設や学校施設への県産間伐の利用
〔実施内容〕市内小中学校に広島県産の間伐材（桧）を利用した掲示
板を設置（23台、500mm×560mm×1,350mm）
- 事業推進費【134,000円】
ひろしまの森づくり大竹市推進協議会の運営経費

野猪等被害防除施設設置補助事業

《担当：地域振興課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	193	0	0	0	193
18年度	264	0	0	0	264
19年度	244	0	0	0	244

近年、猪などによる被害が多発していることから、市民が所有し、または借り受けて耕作する農地で作られた農作物を守るため、電気柵などの被害防除施設の設置に対して補助を行います。

【事業の実施状況】

大竹市の補助金交付要綱に基づき申請のあった事業につき、一件当たり5万円を上限とし交付します。
市内各地区からの申請がありますが、特に山際の農地、小瀬川河川敷の農地に被害が多く、該当地区での実施が多くなっています。近年では、隣接する農地の所有者が連携して取り組む事例もあります。